

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 広島大学附属中学校  
広島大学附属高等学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫 \_\_\_\_\_）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒734-0005  
広島市南区翠 1-1-1

E-mail fuzoku-midori@office.hiroshima-u.ac.jp

Website [https://www.hiroshima-u.ac.jp/fu\\_midori](https://www.hiroshima-u.ac.jp/fu_midori)

幼児児童生徒数 男子 511 名 女子 481 名 合計 992 名  
幼児・児童・生徒の年齢 13 歳～ 18 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、1953 年からユネスコスクールとして登録されており、継続的に活動を行っている。また平成 15 年度以来 3 期に渡ってスーパーサイエンスハイスクールにも指定されており、今年度は平成 24 年度指定 経過措置 1 年次の研究開発課題として、『「科学的な知の体系」の習得と、国際的な視野や高度な倫理観の涵養を通して、「持続可能な社会」を先導する人材の育成を図る教育課程の研究開発』に取り組んでいる。その中で ESD に関連する具体的な授業としては、「ESD 汎論」「ESD 研究」「ESD 共同科学研修」と題したプログラムを実践した。また、生徒会の活動として、ユネスコ班とユネスコ委員会の活動を支援した。

### ① 「ESD 汎論」「ESD 研究」に係わる活動

教科統合型 ESD 教育課程として、前期では高校 II 年生を対象に世界史、化学、数学、生物、地理のリレー授業で「きれいな海から豊かな海へ」という瀬戸内海が直面する課題について、解決策を探った。後期は多様なテーマの課題研究に取り組み、グループによるポスター発表を実施した。

## ② 各学年での特別活動の取り組み

中1～高Ⅲにおいて、特別活動の時間を使って、広島での平和学習、長崎での平和学習、国際理解、アイヌ民族の歴史と文化、沖縄における平和、戦争、米軍基地、生物多様性、絶滅危惧種、生態系、リゾート開発などの個人研究、日本のエネルギー政策など、多様なテーマに取り組んだ。

## ③ ユネスコ班・ユネスコ委員会に係わる活動

高校各クラス1名の委員で構成されるユネスコ委員会により、6月にフレンドリーブリッジが主催する靴の送付、7月に折鶴作成、12月の書き損じはがきの送付に関わった。ユネスコ班は、高校生によるクラブ活動で、平和の鐘を鳴らそう、国際理解セミナー、世界寺子屋募金活動などに参加した。

## ④ 「ESD共同科学研修」ードイツ・チェコ訪日研修ー

ドイツ・チェコ・日本の高校生が一堂に会し、エネルギーや環境に関する事前・事後調査発表、講義、フィールドワーク、講演、討論等の学習活動を行った。地球憲章を研修全体の基本理念に位置づけ、広島という場所、システム思考の一部を取り入れた現状分析と討論を実施した。英語によるコミュニケーションを積極的に行い、国際的視野で事物や事象を捉え、思考する姿勢が育成された。



① リレー授業(地理)の写真



② 前広島平和記念資料館館長を招いての講演の写真



③ 世界寺子屋運動募金活動の写真



④ ESD 共同科学研修チェコ・ドイツ訪日研修集合写真

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

|   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー      | <input type="checkbox"/> 3. 防災                     | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性            |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動          | <input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産           | <input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉         | <input type="checkbox"/> 10. 食育                   | <input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費 | <input type="checkbox"/> 12. 貧困              |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク        | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク                | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) |  |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等      | <input type="checkbox"/> 17. その他( )               |  |  |

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

|   |  |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力     | <input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度    | <input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度              |
| <input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度               |  |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )              |  |

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

|  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動     |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )       |  |

#### エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

|  |
|--|
| 北海道庁インターネット放送局(Hokkai・Do・画)「アイヌモシリ～アイヌ民族の誇り～」<br>NHK『クローズアップ現代“プルトニウム大国”日本～世界に広がる懸念から』<br>絵本『おりづるにのって』(中村里美)<br>NHKスペシャル『きのこ雲の下で何が起きていたのか』 |
|--|

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学校経営方針の中で、ユネスコ教育推進部としての目標が出された。また、研究部からはSSH校としての教育課程（経過措置1年次）の実施計画が出されており、学校全体に周知された。年度当初に中1～高3までの各学年担任団の中から1名のユネスコ教育推進委員を決定し、一年間で活動すべきことを企画・実施した。指導内容については、年度末に「中等教育研究開発室年報」に概要報告をした。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校務分掌として、ユネスコ教育推進部が位置付いており、部員5名が配属され、部室に常駐している教員が2名いる体制である。毎週一回の部会が時間割に設定されており、密に話し合える状態にある。全校で取り組む活動（靴や書き損じハガキの回収、折り鶴など）については、職員全体への通達を職員会議や印刷物で行い、実施した。さらに高校各クラス1名のユネスコ委員、中学校は生徒会の外交局の生徒が率先して活動した。将来的には、中学校にもユネスコ係を置く予定である。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評議員として、外部の方4名にお願いし、学校活動全般における評価をしていただいた。ユネスコスクールとして高校生平和大使の生徒による核廃絶の署名の呼びかけや、ユネスコ班などの活動が顕著であったと評価をいただいた。また、SSHの活動全般においても外部の運営指導委員4名、研究協力委員4名の方から、評価をしていただいた。後期の課題研究においては、生徒自身が、持続可能な社会の形成プロセスそのものの成否を科学的に検討することがあっていいのではという指摘をいただいた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

福岡で行われた第9回ユネスコスクール全国大会において、本校のユネスコ教育推進委員である藤原教諭がコメンテーターとして参加した。今までの本校の実践を踏まえて「50年後の社会に向けたESDによる人材育成」と題してパネルディスカッションで発表をした。また、広島ユネスコ協会主催 国際理解教育セミナーにおいて、コーディネーターも務めた。各校における現状での課題を述べ合ったよい機会であった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

広島大学が主催する広島ESDコンソーシアムの研修会にユネスコ教育推進部員の教諭をはじめ、多数の教員が参加した。7月に開催された「ESDの視点を取り入れた国際理解教育—グローバル人材に必要な能力育成とは—」では、外国語教育の在り方についての講演が興味深かった。12月に開催された「Whole School Approach を目指して」では、分科会で安古市高校の実践を聞き、全校生徒の課題研究の仕方などが本校の学びに役立った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコ班員の生徒は、6月に岩国ユネスコ協会 高校部主催の「高校生討論会『SPACE』」に参加し、5つの分科会に分かれて発表をした。7月には広島に訪問した立命館高等学校の生徒36名とともに平和公園の碑めぐりを行い、交流した。12月には国際理解セミナーに参加し、世界寺子屋運動募金活動にも出て、多くの募金を集めるお手伝いできた。3月末には杉並ユネスコ協会が訪広し、交流会の実施をする予定である。杉並ユネスコ協会とは10年以上の関わりを持っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項2-5に対応

生徒においては、靴や書き損じハガキの送付など自分たちの小さな活動が発展途上国へのどれほどの支援となるかを伝えることが出来た。書き損じハガキの活動は、今年初めて全校生徒を巻き込んだ活動として定着した。高校生平和大使の生徒の呼びかけで、全校での核廃絶の署名が実現した。教員においては、今まで使用していた教材を越えて、新教材となるようなテレビ番組を発掘、提供することができた。原爆の犠牲となった対象が生徒と同じ年齢層であったこと、学校所在地近くの場所が舞台となっていることから、より切実な身に迫る教材となった。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

ユネスコ班・ユネスコ委員を中心に、6月 不用になった靴を回収、洗って発展途上国に送る。8月 全校生徒が折鶴を折り、校内の原爆死没者慰霊碑に奉呈する。12月 国際理解セミナー、世界寺子屋運動募金活動へ参加する。1月 書き損じハガキの回収をし、送る。年間を通して、使用済み歯ブラシリサイクル活動に参加する。

各学年の特別活動の時間に実施する内容としては、以下の通りである。  
中1…似島の戦争遺構を訪れ、被爆体験を聞く。ドキュメンタリー「きのこ雲の下で何が起きていたのか」を視聴して、平和について考える。  
中2…長崎修学旅行へ向けて、長崎に関するテーマについて事前研究を行い、平和について考える。  
中3…京都方面への修学旅行へ向けて、京都に関するテーマで事前学習を実施し、国際理解に努める。  
高I…沖縄修学旅行に向けて、沖縄に関するテーマを各自が設定し、事前研究を行い、研究を進める。  
高II…北海道修学旅行に向けて、北海道に関するテーマを各自が設定し、事前研究を行い、研究成果を報告書にまとめる。  
高III…「現代の社会を考える」をテーマに、持続可能な社会の実現に向けて日本のエネルギー政策について考える。